

| | | | | |
|--------------------|-------------|---|------|----|
| 会議名 (審議会等名) | | 平成20年度第1回 川西市都市景観形成審議会 | | |
| 事務局 (担当課) | | まちづくり部 まちづくり推進室 都市計画課 内線(2921) | | |
| 開催日時 | | 平成21年3月16日(月) 午後2時00分～4時00分 | | |
| 開催場所 | | 川西市役所 5階 502会議室 | | |
| 出席者 | 委員 (敬称略) | 安食・李・太田・岸本・多淵・永井・光岡 | | |
| | 幹事 | | | |
| | 事務局 | 常城・上治・酒本・井内・向・萩倉 | | |
| 傍聴の可否 | | <input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由 | | | | |
| 会議次第 | | <p>議題</p> <p>(1) 議案第1号 川西市都市景観形成審議会における正・副会長の選出について</p> <p>(2) その他 地域レベルの景観まちづくりの展開について</p> | | |
| 会議結果 | | (1) 議案第1号 会長には多淵委員、副会長には岸本委員を選出。 | | |

| | |
|------------|---|
| <p>事務局</p> | <p>(開 会)</p> <p>それではただ今から、平成20年度第1回川西市都市景観形成審議会を開催させていただきます。</p> <p>私、本日の司会進行をさせていただきます、まちづくり部まちづくり推進室長の上治でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それではまず、審議会の開催にあたりまして、常城まちづくり部長よりご挨拶させていただきます。</p> |
| <p>部 長</p> | <p>(部長挨拶)</p> |
| <p>事務局</p> | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本審議会委員のご紹介をさせていただきたいと思います。</p> <p>(委員紹介)</p> <p>続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>(事務局紹介)</p> <p>それでは、お手元の次第により進めさせていただきます。</p> <p>まず、委員の出席についてご報告させていただきます。</p> <p>委員7名の内、ご出席いただいているのは7名でございます。</p> <p>従いまして、半数以上の出席を得ておりますので、川西市都市景観形成審議会規則第6条第2項の規定に基づき、本日の審議会は成立いたしましたことをご報告申し上げます。</p> <p>なお、本日は委員の新任期が始まり最初の審議会となりますので、正・副会長が決まりますまで、仮議長を部長として、議事進行をさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、部長お願いいたします。</p> |
| <p>仮議長</p> | <p>それでは、正・副会長が決まりますまで、本日の次第に従いまして議事を進めさせていただきます。</p> <p>まず、議題(1)議案第1号「川西市都市景観形成審議会における正・副会長の選出について」を議題といたします。</p> |

| | |
|-----|--|
| 仮議長 | 川西市都市景観形成審議会規則第5条によりますと、審議会には会長及び副会長を置き、会長及び副会長は委員の互選により定めるとありますが、選出につきましていかが取り計らいさせていただきますでしょうか。 |
| 委員 | 事務局の方で何か考えがあれば。 |
| 仮議長 | ありがとうございます。 事務局の方でとの声がありましたので、事務局にお考えがありましたらお願いします。 |
| 事務局 | 正・副会長につきましては、会長は多淵委員に、副会長は岸本委員にお願いできたらと思っています。 |
| 仮議長 | 今、事務局の方からは、会長に多淵委員、副会長に岸本委員とのことでございますが、委員の皆様いかがでしょうか。 |
| 委員 | 「異議なし」 |
| 仮議長 | ありがとうございます。 それでは、本審議会の会長は多淵委員に、副会長は岸本委員にお願いしたいと思います。 それでは、正・副会長が決定いたしましたので、ここで議長席を交代させていただきます、議事進行につきましては、多淵会長と岸本副会長にお願いしたいと思います。 |
| 議長 | どうぞよろしく申し上げます。 本日は、審議会にとっての正・副会長の選出とこれまでの色々な取り組みを皆さんに紹介して、新しい展開に対して自由なご意見をいただき、今後の展開の指針にしていきたいということだろうと思います。 それでは「地域レベルの景観まちづくりの展開について」平成20年度の取り組み等の説明をお願いします。すでにお手元には資料が届いていると思いますので、事務局より説明してください。 |
| 事務局 | (事務局説明) |
| 事務局 | 少し補足させていただきますと、資料2の方で今年初めて景観ワークショップを展開させていただきました。これは昨年度の審議会で、集めた写真、これを景観資源としているんですが、この景観資源を景観計画へどう結びつけたらいいかということで試験的にしてみたいんです。 |

| | |
|------------|--|
| <p>事務局</p> | <p>資料2では開催した時・場所がばらばらなんですけど、これはたまたまで、第1回目の11月8日に一庫ネイチャーセンターでこの写真を見ていただきまして、どういうスポットをまち歩きするかということで選んでもらいました。委員が直近で明石市で景観まち歩きのご経験がおありだということで、お話をしていただき、11月29日の第2回目以降からみんなで選んだ多田地区を歩かせていただき、写真を撮ったり情報を共有し、第3回で景観マップを作るための情報交換をする作業を進めてみました。</p> <p>景観マップを作成するにあたっては、事務局もノウハウを持っていませんので、今年から宝塚造形芸術大学の先生が委員になられてますのでお願いさせていただき、宝塚造形芸術大学の学生3名をご紹介してもらって入っていただき、最終的に今、学生さんにマップという形で作業してもらっている状況で、今年度試験的にこういう動きをさせていただきましたので、来年度以降も地域を変えながら、同じような産官学民ではないですけど実施していけたらと思っています。</p> |
| <p>議長</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>今、事務局からこれまでの取り組みと今後の展開について、ご意見を賜りたいということですので、どなたからでも結構です。ご発言いただいたらと思います。</p> |
| <p>議長</p> | <p>最近、景観法ができてから、大きな都市では自動的に景観形成団体になっていて、法律的な事務が課せられているので、ずいぶん景観に対する考え方が変わってきています。</p> <p>特に都市景観ですが、京都市では五山の送り火が見えるように、ある視点を決めて高さの制限を意識的にしていたり、神戸市では高さの制限を海と山が必ず見えるようにし、一定以上のボリュームについてはブレーキをかけようということ、背の高いのは認めるけれども幅の広いのは山を見えなくしたり、山から海を見えなくしたりするということで、都市景観行政としてかなり厳しい規制をかけてきつつある。</p> <p>姫路市では、中核都市ですから景観法を受けまして、県の委譲に基づいた屋外広告物審議会を設け、市独自の都市景観審議会が二つあったのを一つにして都市景観報告審議会として色々な仕掛けをしようとしています。</p> <p>こういう他市の状況も、行政の方では早くキャッチして参考にされるのがいいのではないかなと思います。</p> <p>それと川西は緑・川があり、いい自然環境をすぐ近くに持っているんで、まちづくりに対するクレームが出てくるまでに、市民の立場から見ていいまちにする手法を、この都市景観形成審議会でご提案していくことが大事なのかなと。今は平和で、きれいな里山景観など穏やかな話が多いが、景気が良くなるとまちの景観が乱れてくるような、例えばとんでもない色の建物がでて</p> |

| | |
|-------|--|
| 委 員 | <p>きたりする可能性もありますから、あらかじめそういうことをコントロールできるような視点も考えていかなければならないと思います。</p> <p>最近、各市でアクティブな動きをしていますので、川西市が市民と手を結んで仲良くというのが、今後続けていけるのかどうか不安になりましたので意見を申させていただきます。ご検討いただけたらと思います。</p> |
| 委 員 | <p>審議会には10年、毎年1回参加させてもらっているが、最近は写真展の話が多い。写真展の応募人数も年々増えましたとの報告だったが、11人しか増えていない。写真展を取り上げてこの審議会に出していただくのもいいのだが、写真展を参考にして例えば景観に繋げていくものを議題としてもいいのではないか。</p> |
| 事 務 局 | <p>景観条例が平成5年からで、行政のしてきた景観は大きな建築物を表彰したり木を植える時に助成をしたりとかでありました。しかし、そういう需要もなくなり、大きい建築物を建築する時代ではなくなったのかなと思っているんです。</p> <p>また、そういう行政展開には一般市民のかたは多分不在であり、表彰されるとしたら設計士や建築された業者であったり、木を植える場合は土地所有者に助成金を払って植えてもらおうとかで、市民は全然参加できていなかった。</p> <p>そこで、平成18年度から、市民がどんな景観を感じておられるのかを教えてもらおうと始めたのが、写真展と写真募集なんです。3年経ってとりあえず継続することが大事なのかな、そしてこれをもっと掘り下げていったらいいのではないかということで問題提起させていただいたのですが。</p> |
| 委 員 | <p>参加者の人数がぐっと増えると。飾る場所がないぐらいに増えるといいんだけど。一庫ダムの流木アートも、あそこに流れてくる流木をボランティアで拾って処理しようと思ったら大変なので思いついたことだけど、市役所の方で飾ってもらったりして、参加する子どもたちの人数も増えている。それだけでも流木がかたづく一つの要因になっている。</p> <p>写真展は続けたらいいことだしやめる必要はないと思うけど、もう少し他のことを提案してもらえたら審議会の皆さんからも意見がやすいと思うんですけど。</p> |
| 議 長 | <p>ごもっともな意見だと思います。他にございませんか。</p> |
| 委 員 | <p>委員の話に賛同する部分が多いんですが、このアンケートを見たときの印象が、まずお年寄りが多いということです。そして、景観に関心を持っている人が増えていっているというお話でしたけど、このまま続けていっても市民の知らないところで進んでいく感じになりそうなので、これだけ自然のす</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>委 員</p> | <p>ばらしい所があるのだから、せめてどこへ行ったらいいのかというマップが必要になりますよね。</p> <p>この中に、大きなイベントをしなければと書いてあったと思うんですが、これだけ自然が多ければ、例えばバスツアーをしてみるとか。それと川西市で住んでみたいなという所が全部自然の所なので、これだけ自然を大事にするのであれば自然に関心を持てること、例えば子どもたちが植樹をするイベントがあるとか。川西は自然を大事にする街であるPRとか。委員のおっしゃってる流木アートのイベントもその一つですよ。</p> <p>他市に興味を持ってもらえる何かをしないと。写真展は続けてもらってもいいのですが、これからは次のステップを考えていかないと細々と終わってしまいそうですし、やはり一番気になるのはお年寄りが多いことなんです。</p> <p>子どもが参加できるまちづくりを考える。各学校の代表が集まって、このまちをどうしたらいいというようなイベントをみつなかホールですとか。そうしないと大きなまちづくりに繋がっていかないような感じがしますよね。</p> |
| <p>事 務 局</p> | <p>市民の目線に立った景観を見直しているところなんですけど、それをさらにどう展開していくのかなというところで知恵がなかなかでてこない。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>このワークショップも若い人が参加していかないとなかなか後が続かないと思うんですよ。これから先を考えた時に、子どもたちが参加するとか、親子で参加するとか。</p> <p>また、景観ですから建物とかを見直してみることも必要ではないかと思えますし、違う視点というのが必要な感じがします。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>資料3の景観計画策定までのイメージというのが、平成20年度からというのは良いのですが、平成22年度からというのがすごいことが書いてあるんですよ。</p> <p>今は、20年度からはワークショップやまち歩き、建物探検などが書いてあり、市民の掘り起こしをしているのでいいのですが、22年度からの方針づくり、景観計画（案）づくり、景観計画策定は、市民レベルとは意味合いが違う話になります。</p> <p>今川西市が、市民が景観に関心がないので、写真展を開いたりわがまち再発見のまち歩きをして、市民目線で取り組まれています。しかし、ここに書いてある景観計画策定は、例えば多田地区ですとか、来年度は川西南公民館で加茂・久代地区を歩くと思うんですが、多田地区なり加茂・久代地区なりのそこに住んでいる人が目覚めないとだめな話なんです。</p> <p>清和台や大和団地に住んでいる人が、多田地区っていいなあと景観に目覚めるものとは違って、守る側がちょっとした路地や柿の木、家が皆さんに愛されている景観だと認識して、自分たちで守ろうという意識にならないとだ</p> |

| | |
|--------------|---|
| <p>委 員</p> | <p>めなんです。</p> <p>そういうことから、20年度からと22年度からでは対象が違うことになるんです。きついことを言うようですが、写真展やワークショップは市民全体に繋がることにはなるんですが、市民に愛されている黒川や多田、加茂・久代の日本の故郷といわれている景観が守られるかということには繋がらないんですよ。</p> <p>そのところが一番エネルギーの要るところでして、一庫ネイチャーセンターでのワークショップの基調講演やファシリテーターはテクニカルな話で、例えば明石の谷八木でしたのはその住民を対象にしたんです。谷八木といういいまちがあるので谷八木の人30人が集まってきて、このまちこんな良かったんかという話をしているわけですね。この前したのは、全市民がどこがいいかということで多田地区を選んだ形ですので、ワークショップの最初が違います。</p> <p>景気が良くないから今はいいですけど、景気がよくなればどうなるかわからない。それをどう止めるかは、例えば多田地区でしたら多田地区の人が守ろうという意識をもたせるよう行政が仕掛けをしていかないといけないので、まずは、やるかどうかの決心が必要になります。</p> <p>そのためには、仕込みがいきりまして、委員のおっしゃったバスツアーとかも住民が目覚める機会にはなっていくのかなと思います。また、仕込みだけではなかなか地域が腰を上げないこともありますので、自治会長や老人会などへコンタクトをとっていかないといけないかなと感じます。</p> <p>尼崎の寺町と伊丹の郷町の景観地区指定に携わりましたが、やはり3年ぐらい仕込みにかかりました。その気にさせるのに相当な労力を要します。</p> <p>景観計画は景観法に基づくものをイメージされているのか。</p> |
| <p>事 務 局</p> | <p>都市計画法に基づく景観計画をイメージしています。踏むプロセスは一緒だと思っています。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>今いったのは、例えば多田地区の人が同意したら印鑑までいるといった激しいものですから、本当にその気になっていただかないと難しいものです。</p> |
| <p>議 長</p> | <p>今、委員がおっしゃったことは、この景観条例を動かすと私権の制限まで含めて考えなければならない。行政として腰を据えないといけないことです。</p> <p>東京であった建物の話もそうですが、景観法に基づくまちづくり協定とかの手法を動かしておけば、出さないでいいことかもしれません。</p> <p>本当は、今元気がないときなので、行政が腰をすえてやらなければならない時だと思う。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>民間が元気のないときにやらないと。反対に元気のあるときにはしようと思ってもできませんから。民間のほうから反対がです。</p> |
| 議長 | <p>今は清く、正しく、美しくが通る話ですから。条例の中できっちり決めていけば、景観計画の中でも安心できるんです。</p> <p>いささか心配していたのは、一の鳥居駅の東側の開発ですか。ああいう大きなまちづくりの中に、景観法に基づいた綺麗なまちをつくることを盛り込んでおいたらいいんですが。それと加茂地域ですが史跡がありますよね。やはり広範囲に渡っての史跡を守っていくのにどういった景観が良いかを誘導していくのも、この条例の中で考えていくべきなのかなと思います。</p> <p>市民が景観に目覚めて、どう関わっていくかが必要なんです。</p> |
| 委員 | <p>川西に10地区あるんですね。隣に住んでいる人でないとわからないこともたくさんあると思います。地区地区の特徴があって、その集まりが川西でもいいと思うんですよ。地域に意見をまとめてきてもらう。皆さん今の写真でこれだけ関心を持ってもらってるんですから、地域同士が集まるコラボの会合をしていくのはどうなんでしょうか。</p> <p>地域の人がやる気にならないとという言葉がすごく印象に残りましたので、住んでる方の思いが一番だと思います。全部一緒にするのが無理であれば、各地区がモデル地域で、それぞれの特徴に目覚めていただいて、これは困った景観であるとか、これは残したい景観であるとかが集まればいいかなと思いますね。</p> |
| 委員 | <p>私は、都市ブランドを専門にしております、大阪市や宝塚市でも委員をしているんですが、先程委員がおっしゃられた「本気でやるんですか」という言葉を何度も聞きます。本当に自治体がやる気がないのであればだめだと思っています。さらに、市長がどう思っているのかが一番重要なことだとも感じています。</p> <p>今日いただいている「景観施策の推進について」の資料で、左側に市、市民、NPOとありますが、これだけでいいのかなと思います。普通うまくいっているところでは、これ以外にもたくさん入るわけです。</p> <p>なぜ、都市ブランドが必要かといいますと、一言で住んでいる人が自慢でき、他市の人がそこへ行きたいということが一番大きいところです。</p> <p>今回、わがまち再発見で、造形大の学生が関わってまして、学生から聞いていましたら、結構内部でしておられるようで、資料1の中にある「身近な」「ホッとする」「お気に入り」の言葉の中に、自慢できるなどの言葉が入ればもっと広がる感じがします。</p> <p>内側からではなく、外側から見て、お金払ってでも行きたいな思えることが大切で、市としてもお金が落ちる仕掛けをしていかなければならないので</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>委員</p> | <p>はと感じます。最初はもちろん住民の意識をあげることも大切なことですし、住民の意識をあげてからまちづくりをしていくのも方法の一つではあります。</p> <p>そこで、市、市民、NPOだけでなく、地域の様々な団体にまで広げていく必要があると思いますね。景観を何かしていこうとすれば必ずお金がいるわけですし、景観が良くなることによって誰が一番得をするかを探していけば、例えば能勢電鉄や商業者などが協力していけるわけです。こういう仕組みを作っていくことが最善ではないかと思っています。</p> <p>都市ブランドというのは、川西市といえはまず何をイメージするかから始まるわけです。ない場合は何をイメージしてもらうかから始まります。そういうところから、こんなすばらしい景観がありますよということを整理していく必要があります。例えば色も一つの方法です。例えば市花がりんどうですから、りんどうの色をいろいろな所に使ってPRしていくと、「あっ、川西だな」でイメージできますよね。他市でもよくされていることです。</p> <p>地域レベルの景観まちづくりの展開ということですが、まだ、今地均しのところだとは思いますが、委員もいわれました資料3の平成22年度からの景観計画の策定フローについては、非常に難しいものがあると思います。</p> <p>欧米でよくする手法として、まずワークショップ、次にフォーラムやイベントになってくるのですが、そういった市民を巻き込んだものをコンセプトとしていくわけです。</p> <p>しかし、これをどう伝えていくかが、自治体等で今悩んでいるところであり、宝の持ちぐされになっているケースが多く見受けられる。川西市全体を景観で以ってどうイメージしていくかを考える必要があると思います。</p> |
| <p>議長</p> | <p>ありがとうございます。今日は自由な意見交換の場で、各委員さんがおっしゃっていただいた意見は、事務局がまた市長へ上げていくことはできると思うんです。アイデア等がありましたらそういう風に使いたいと思いますので、自由に発言ください。</p> <p>今、景観行政の中で、市民から「あんな建物はだめだ」というような苦情とかはないんですか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>1件だけ、今回まち歩きしました多田地区で、区画整理をした多田神社の川を挟んだ斜め前なんですけど、昔一体が田んぼだったところをまちづくりするということで、市街化調整区域から市街化区域へ編入した折に、区画整理をされたんです。</p> <p>区画整理の中に、従前パチンコ屋があり、そこを立派に建替えられたのですが、照明がすごく明るくて、しかも24時間なんです。パチンコ屋は11時までですが、ネットカフェが24時間になっており、非常に明るい。その光が何とかならないかというのは議会でも質問がありまして、今回多田地区を歩いた時も、市民側から問題提起があれば良かったんですが、まち歩きが昼間だったもので。そのような問題提起はございます。</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>委 員</p> | <p>たまたまお話ができましたので、実はこの審議会の前に多田グリーンハイツの友人から、お話のしました景観についてのメールが届いているんです。たまたま、実家が川西市でまだ戻ってきて数年しか経っていない方ですが、今回この写真展のことも知らなかったとおっしゃっていました。</p> <p>多田神社のあたりが大変好きで、もっとたくさんの方が訪れる所だと思っていたようです。市民レベルでの取り組みがなかったら、大きな景観計画の策定はできませんし、やはり足元から、市民の方が多く参加されてということが大切です。写真展を3年間続けられてこられたことは、大変意義深いことだと思っていますし、一足飛びには何事もできません。</p> <p>まずは、大きなイベントをされる、例えばハイキングやフォーラム、委員のおっしゃっておられた流木アートなどを考えられたらいいのではないかと思います。</p> <p>老朽化していつているニュータウンでも、今、絵葉書や景観マップの作成に取り組んでるところもあります。写真展は素晴らしいものだと思っていますので、アンケートの中にもありましたが、食べ歩きなども取り入れていけばいいと思いますし、告知する方法も考えられたいのではないのでしょうか。</p> <p>写真展も、人の集客力のあるところに飾られたら、もっとPR効果があるようにも思います。阪急電鉄駅構内やアステ川西などもいい場所かもわかりませんね。</p> |
| <p>事 務 局</p> | <p>来年度は、ゴミ処理施設も展示できるスペースがあると聞いているので、そこでも展示しようと考えています。とにかく場所を探して展示させていただくような形では考えたいと思っています。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>委員が言われたように、市外からでも多く人が来てお金を落とすとしていてもらわないと。写真集もいいんだけど、源氏まつりもいいんだけど、市民はわかっているだけではだめだと思う。やはり市外にも広く知れ渡ってないからね。岸和田のたんじり祭りのように全国ネットでお客さんがくるようにすればいいんだけど。まちのイメージにもなるし。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>景観もそうなんですが、コンサルタントだから色々な啓発をするんですが、昨年高槻市で建物の耐震化のキャンペーンを考えたんです。実は市民祭りがあるのでそこですと何万枚ものビラが裁けるんですね。</p> <p>景観はまだましで、耐震化になると市役所で配ろうが市民は誰も見向きしない。だからイベントと合体させるというのも一つの手だと思いますよ。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>今守口市で農家の方が1メートルの大根を作っている。見に行こうかなという気になるからね。朝日新聞の朝刊でいつも大阪のことが取り上げられている。そういうスポンサーが必要だと思う。</p> |

| | |
|-----------|---|
| <p>議長</p> | <p>これはできないことかもわからないですが、川西市民に対して、こういう建物はないほうがいいというようなアンケートができるのであれば試みて、そういう中から、これから新しく建てる建物のイメージを探していくことによって、何か出てくるかも知れませんね。</p> <p>するとなったら持ち主はショックを受けるでしょうけど、ショックを受けないととんでもない建物でも構わないと思っているかもしれない。そういう仕掛けもしてみたらおもしろいと思いますね。</p> |
| <p>委員</p> | <p>実は、数年前に宝塚市で都市ブランド条例を作る準備をしていました。何かというと昔は宝塚駅前がドキドキして行った所だったが、今はそのドキドキ感がないということに端を発しているんです。</p> <p>駅降りた所に店の看板やパチンコ屋がある、これは屋外広告物の景観的な配慮では規制ができない部分なので、都市ブランド条例を作って強制的にしようとしたもので、委員が言われたように、この市に必要な建物、いらぬ建物、いらぬ看板はあると思うんですよ。先程から言われているように利益にならないところをどう排除していくかという問題が必ずでてきます。</p> <p>都市ブランドアンケートも行ったんですが、その中で駅を降りて何を見たら宝塚だと思いますかも問いかけて見ました。対象は住民、商業者、宝塚に遊びに来られた人ですが、パチンコ屋、店の大きい看板などの項目が出てきたんですよ。これを規制していくとなると景観法では緩いんですよ。</p> <p>今の川西市において、都市ブランドに貢献している建物、害になっている建物を、NPO団体等が選別して、市民の意識を高めていけば、商業者同士で指摘しあったりすることができるようになる。仲間同士で指摘しあうことが規制にもつながることになるのでいいと思います。</p> <p>それと告知の方法も問題になるところです。川西市民でつくるネットワークがあれば、情報が漏れなく伝わるので、NPO等の団体を作って情報を発信することも必要だとは思いますがね。ポジティブな市民は必ずいておられますから。ネットワークは重要だと思っています。</p> |
| <p>委員</p> | <p>JR東海のイベントでさわやかウォーキングというのがあるんですが、1回で参加者が約3,000人の大きいイベントなんですよ。もちろん東海地方に魅力の多い場所がありますから。</p> <p>委員も言われてましたが、例えば阪急電車がさわやかウォーキングで川西が誇れる郷土などのスポットを載せていけば、どっと人がくるわけですね。人がくるとそこに住んでいる人は、このまちがこんなにすごい所なのかと意識するようになるんです。</p> <p>平成22年度から景観計画策定までが大変ですよと言っているのは、市だけでしたら無理ですよ。市民が、そこに住む人が誇れるまちやと思わせることが一番大切です。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>写真展なんかは、都市計画がしなくても文化・観光の方がしてもいいことだと思いますね。新しい手を打っていく必要があると思います。</p> |
| 議長 | <p>まちづくりの話になってきていますが、一步一步進んでいく、スケジュールを立てて進めていく。今日は具体的にこういうのを審議してほしい内容ではなくて、将来のあり方がテーマだったんですが、色々な意見が出ました。委員何かありましたら。</p> |
| 委員 | <p>写真展のアンケートを見て、属性的に非常に偏ってしまったなと感じています。何人かの委員もいわれてましたけど、川西の再発見をするのはもっとたくさんあるはずなんですよ。わがまち再発見でもっと違うことを訴えたいと思っておられるんだったら、これだけで評価してしまうとある特定の人がいいといっていることにしかならない。</p> <p>景観も見る人によって、自然がいいという人もあれば、古いまち並みはいやだという人もいる。近代的なアメニティの高いものもいいと思っている人もいる。</p> <p>若い世代、これからこの街を担っていく世代の、このまちのここがいいというのはつかんでないし、つかむすべがない状況でもある。昭和40年代からニュータウンづくりで関わってきたが、ここは全国的にニュータウンで有名なまちなんですよ。それが今、ほとんど老朽化し崩れかかっている。早急に景観を守る手を打っていかないと、パッチワークのまちになる可能性もあると思います。</p> |
| 議長 | <p>今日はいろいろな意見がでましたが、事務局が行政的な手法をどう考えていくかということになると思います。事務局には大変な思いをさせることになりませんが、夏ごろに、こういうことを考えた、例えば市民からの写真の視点に立っていない建物などを題材として検討していくなどをテーマとして議論する機会を計画していただきたいと思います。</p> <p>今日は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、審議会を終了させていただきます。</p> |